【実行団体用】

事業完了報告書

提出日：2023 年 4 月　9 日

1．事業概要

（1）実行団体名：特定非営利活動法人　アレッセ高岡
（2）事業名　：　CLD 青少年のための市民性教育プログラム
（3）事業実施期間：2020 年 4 月～2023 年 3 月
（4）資金分配団体名：公益財団法人日本国際交流センター

2. 規程類の整備・運用実績

いずれかにチェック☑をつけていただき、項目ごとの設問に回答してください。

（1）事業期間に整備が求められている規程類の整備は完了しましたか。
☑　完了　／　☐　整備中
→上記で「整備中」を選択した場合、整備できていない理由を記載してください。また、事業開始時と比較して、整備状況が改善された点を記載してください。
（2）　整備が完了した規程類を自団体の web サイト上で広く一般公開していますか。
☒　全て公開した　／　☐　一部未公開　／　☐　未公開
→上記で「一部未公開」または「未公開」を選択した場合、その理由と公開予定日を記載してください。
（3）　変更があった規程類に関して JANPIA に報告しましたか。
☑　変更があり報告済　／　☐　変更があったが未報告　／　☐　変更はなかった
→上記で「変更があったが未報告」を選択した場合、その理由を記載してください。

3. ガバナンス・コンプライアンス体制の整備・運用実績

いずれかにチェック☑をつけていただき、項目ごとの設問に回答してください。

（1） 社員総会または評議員会、理事会は、規程類の定めるとおりに開催されていますか。
☑ はい ／ ☐ いいえ
→上記で「いいえ」を選択した場合、その理由を記載してください。
（2） 内部通報制度は整備されていますか。
☑ はい ／ ☐ いいえ
→上記で「はい」を選択した場合、設置方法を以下から選んでください。（複数選択可） ☐ 内部に窓口を設置 ／ ☐ 外部に窓口を設置 ／ ☑ JANPIA の窓口を利用
（3） 利益相反防止のための自己申告を定期的に行っていますか。
☐ はい ／ ☑ いいえ
→上記で「いいえ」を選択した場合、その理由を記載してください。 倫理規定で利益相反防止のための自己申告について触れられているものの、定期的に行うための詳細はまだ決められていない。「役員の利益相反禁止のための自己申告等に関する規程」の作成について調整中である。
（4） 関連する規程類や資金提供契約の定めるとおりに情報公開を行っていますか。
☑ はい ／ ☐ いいえ
→上記で「いいえ」を選択した場合、その理由を記載してください。
（5） コンプライアンス責任者を設置していましたか。
☑ はい ／ ☐ いいえ
→上記で「いいえ」を選択した場合、その理由を記載してください。
（6） ガバナンス・コンプライアンス体制の整備や強化施策を検討・実施しましたか。
☑ はい ／ ☐ いいえ
→【任意】上記で「はい」を選択した場合、どのような検討・実施をしたか事例を記載してください。 2023 年 3 月 6 日オンラインにてコンプライアンス委員会を開催した。外部有識者の提言により、年度に一度は開催し、実施状況のモニタリングなどを行うことを確認した。

（7） 団体の決算書類に対する会計監査はどのように実施しましたか。本事業の最終年度の状況を選択してください。（実施予定の場合を含む）
☑ 外部監査 ／ ☑ 内部監査 ※（複数選択可）
→上記で外部監査／内部監査を選択した場合、その実施者/実施時期を記載してください。 外部監査：アンジェロ・イシ氏／2023 年 3 月 21 日 内部監査：アレッセ高岡監事 2 名／2023 年 4 月(予定)
（8） 本事業に対して、国や地方公共団体からの補助金・助成金等を申請、または受領していますか。
☐ はい ／ ☑ いいえ

4. 広報実績

いずれかにチェック☑をつけていただき、設問に回答してください。

（1）シンボルマークの活用状況
☑ 自団体のウェブサイトで表示している ／ ☑ 広報制作物に表示している ☐ 報告書に表示している ／ ☐ イベント実施時に表示している ☐ その他 →「その他」を選択した場合は記載してください （自由記述）：

最終年度の広報実績について記載してください。

広報種類	有無	内容
メディア掲載（TV・ラジオ・新聞・雑誌・WEB 等）	有	・2022 年 11 月 10 日 北日本新聞『アレッセ高岡に大賞』 概要：地域課題に取り組む団体や個人を顕彰する「県ふるさとづくり賞」の表彰式が、県教育文化会館であり、子育て支援活動部門で大賞に輝いた当 NPO 法人など 5 団体が表彰された。 ・2022 年 11 月 10 日 富山新聞『５団体たたえる 県ふるさとづくり賞』 概要：同上 ・2022 年 11 月 20 日 富山新聞『外国ルーツを対象 高校進学説明会』 概要：当 NPO 法人が射水市善光寺の複合交流施設で中学生や保護者を対象とした高校進学説明会を開いた。 ・2022 年 11 月 21 日 北日本新聞『日本での高校進学に理解』 概要：同上 ・2023 年 1 月 21 日 富山新聞『地球市民賞を伝達』 概要：国際交流基金の地球市民賞伝達式が高岡市役所で行われ、当 NPO 法人に伝達状が贈られた。 ・2023 年 1 月 21 日 北日本新聞『アレッセ高岡「地球市民賞」』 概要：同上 ・2023 年 1 月 21 日 北陸中日新聞『国際交流基金の地球市民賞 アレッセ高岡受賞』 概要：同上 ・2023 年 1 月 21 日　Yahoo!ニュース『アレッセ高岡に「地球市民賞」国際交流基金、多文化共生活動を評価』 https://news.yahoo.co.jp/articles/9d10592b76683f7daba2c8805301214291359d9d 概要：同上 ・2023 年 1 月 21 日　朝日新聞デジタル『外国ルーツの子　埋もれさせない　アレッセ高岡に地球市民賞』 https://www.asahi.com/articles/ASR1N7SDWR1NPISC005.html 概要：同上 ・2023 年 1 月 21 日　北陸中日新聞 Web『国際交流基金の地球市民賞　アレッセ高岡受賞』https://www.chunichi.co.jp/article/621427 概要：同上 ・2023 年 1 月 29 日 富山新聞『共助に理解深める』 概要：当 NPO 法人の BOUSAI ワークショップが高岡市守山町のニッセンビルで開かれ、外国人の子どもやビルに入居する運動教室の生徒らが防災意識を高めるとともに、言葉や文化を超えた共助について理解を深めた。 ・2023 年 1 月 29 日 北日本新聞『外国ルーツの子 避難訓練』 概要：同上

		・2023 年 2 月 5 日 NHK NEW WEB『高岡市のＮＰＯに「地球市民賞」外国ルーツの子供達に学習支援』 https://www3.nhk.or.jp/lnews/toyama/20230205/3060012539.html ・2023 年 2 月 10 日 読売新聞『高岡の NPO 地球市民賞』 概要：当 NPO 法人が国際交流基金の「地球市民賞」を受賞した。理事長が取材に応じ、当法人の前身となる団体設立の経緯、新事業、今後の展望などを語った。 ・2023 年 2 月 11 日 北日本新聞『毎日読もう 親子のページ Cheer Up!富山のこどもたちへ』 概要：当 NPO 法人の活動、主に対面学習についての紹介。 ・2023 年 2 月 19 日 北陸中日新聞『17 のゴール 思いをアートで表現』 概要：県内に住む外国ルーツの子どもたちがＳＤＧｓをテーマに創作した作品を紹介するアート展「あなたの想（おも）いで世界をてらそう！」が、当ＮＰＯ法人によって、子どもたちが言葉の壁で伝えられないＳＤＧｓへの思いをアートで表現して発信する機会として企画された。 ・2023 年 2 月 19 日 富山新聞『SDGs テーマ 児童生徒が作品』 概要：同上 ・2023 年 2 月 20 日 読売新聞『デジタルアート NPO が体験会』 概要：当 NPO 法人が、卒業生を講師に迎え、高岡市内でデジタルアート体験会を開いた。 ・2023 年 3 月 6 日　毎日新聞（英文ニュースサイト）The Mainichi『Japan nonprofits awarded for assisting foreigners and kids, spreading messages of peace』 概要：同上 ・2023 年 3 月 15 日 毎日新聞『アレッセ高岡を表彰』 概要：2023 年 2 月 10 日の読売新聞と同様 ・2023 年 3 月 17 日 北日本新聞『草の根活動続ける』 概要：国際交流基金の「地球市民賞」に選ばれた当 NPO 法人の理事長らが、富山県庁を訪れ、横田美香副知事に受賞を報告した。
広報制作物等	有	・2022 年 11 月 19 日開催　高校進学説明・相談会『外国ルーツの生徒・保護者向け高校進学説明・相談会 2022』SNS にて宣伝＋各学校に案内文配布 ・2023 年 1 月 1 日～1 月 31 日募集　SDGｓアート展『SDGｓアート展　アート作品募集』チラシ 26,000 部 ・2023 年 1 月 28 日開催　防災訓練『避難訓練＆BOUSAI ワークショップ　知っておこう！器材を使った救助法～身近なものを使って～』チラシ 100 部 ・2023 年 2 月 18 日・19 日開催　SDGｓアート展『あなたの想いで世界をてらそう！－想いを伝える SDGｓアート展－』チラシ 18,000 部 1 日目ワークショップ『カードゲームで学ぶ SDGｓ』SNS 広報用画像作成 2 日目ワークショップ『デジタルアートでセカイを描こう』SNS 広報用画像作成 ・2023 年 3 月 19 日開催　映画鑑賞『～短編映画「高岡事件」を読み解く～』チラシ

		27,000 部 ・アレッセ高岡ホームページ更新 ・Facebook 更新　https://www.facebook.com/alecetakaoka ・Instagram 更新　https://www.instagram.com/alece.takaoka/ ・Twitter 更新　https://twitter.com/alecetakaoka ・YouTube チャンネル更新　https://www.youtube.com/@alecetakaoka/featured
報告書等	無	

5. その他（本助成を通じて組織として強化された事項や新たに認識した課題、今後の対応/あればよいと思う支援や改善を求めたい事項など、自由にご記載ください。）

当団体が、事業実施を通じて事務局を整備し NPO 法人化することができたのは、助成による経済的な支えがあったのはもちろんですが、資金分配団体である JCIE の伴走支援や、住友商事 100SEED のプロボノ支援など、人的なサポートがあったところによるものが大きいと思います。マンパワー不足の中、どうしても目の前の事業の実施そのものに意識が集中してしまいがちで、それを支えるバックヤードの整備には気が回らず、組織として抱える課題を整理することすらなかなかできない状況があります（後回しになったり、自組織を俯瞰して見ることができなかったりする）。JCIE や住友商事の方々が、組織の外からの視点から、絡まった課題群を解きほぐし、どう優先順位をつけて解決していくか我々の思いを尊重しつつ一緒に考えてくださったことが、何よりも当団体が組織基盤強化を実現できた理由だと思っています。

社会貢献しようという人や団体は当団体以外にもたくさんあると思いますが、組織基盤強化に意識を向けてそこに適切にマンパワーを注げる社会貢献団体は（当団体も含め）、どちらかというと少ないのではないかと思います。そのために、社会貢献活動を続けたくても断念せざるを得ない状況に陥ることも多々あると思います。助成金の使い道の制限もそうですが、人的サポートのネットワークをどう作るか等、いかに活動を持続可能な形にしていくか（すなわち組織基盤強化を進めるか）という観点からの支援をもっと手厚くすることが大切ではないかと実感しています。

【添付資料】

活動の様子がわかる写真　5 枚程度

JANPIA の事業報告書や WEB サイト、SNS 等で公開可能な写真を 5 枚程度（1 枚 2MB 以下）ご提出ください。（肖像権・著作権に十分にご注意ください。）

それぞれどんな場面の写真なのか、1 枚あたり 50 字から 200 字程度で説明を記載していただきますようお願いいたします。

※ご提出をもって JANPIA での使用にご了承いただいたこととし、使用時に改めて確認はいたしませんので、ご承知のうえ、使用に差支えのない写真（使用許可をとった写真や個人が特定される写真を避ける等）を選んでいただきますようお願いいたします。

外国ルーツ進学説明・相談会

実施日：2022年11月20日

他団体の共催を経て、県内に住む外国にルーツを持つ児童生徒とその保護者を対象とした進学説明・相談会を射水市にある外国人コミュニティが集まる複合施設「Breves」にて開催した。5か国語に翻訳した「外国人のための高校進学説明会資料」を用いて同時通訳で参加者に説明した。また富山県教委県立学校課や高岡向陵高等学校の先生を招いて受験スケジュール等について説明を受けた。説明会後は個々の家庭に応じた個別の相談会も実施した。

避難訓練＆BOUSAI ワークショップ

実施日：2023年1月28日

当NPO法人が拠点とするニッセンビルで併設する教室や事務所と合同で運動教室に通う生徒らとともに避難訓練を行った。その後、BOUSAIワーショップでは参加した子どもと大人がグループとなり、属性に捉われずもしも倒壊建物から下敷きになったとき、どのような行動をとるかなど、個々の防災意識を高めるとともに言葉や文化を超えた共助について理解を深め言葉に壁があっても「つながること」ことの大切さの理解を深めた。

SDGｓアート展
～あなたの想いで世界をてらそう！～

実施日：2023年2月18日・19日（2日間）

2日間に渡り県内に住む青少年から募集した「SDGｓテーマ」のアート作品36点のを当団体の事務所があるニッセンビルにて展示した。

地域の青少年や外国ルーツの子どもたちが主体的にSDGｓ課題について考え、言葉の壁で伝えられないSDGｓへの思いなどアート作品を作る協同作業を通して表現して発信する機会となった。

SDGｓアート展
～あなたの想いで世界をてらそう！～

実施日：2023年2月18日　ワークショップ1日目
SDGｓについて学ぼう（カードゲーム）

SDGｓのテーマについてそれぞれのグループで課題解決に向け、個々のアイディアと発想力をともに共有しあいながら、「自分ごと」として捉え、何ができるかを話し合いながらデスカッションをした。

SDGｓアート展
～あなたの想いで世界をてらそう！～

実施日：2023年2月19日　ワークショップ２日目
デジタルアートに触れる

アレッセ卒業生でもある外国ルーツ高校生を講師に迎え、デジタルアート体験を応募した県内の青少年を対象に実施した。自分の可能性をアートで表現し、自分が描きたいものから、願いや思いを描き加えデジタルアートで自分の見えている「セカイ」、自分の中の「セカイ」を描いて参加者同士互いに共有した。

短編映画「高岡事件」を読み解く

2023年3月19日実施

アレッセ高岡フィルム・フェスティバル「フィウミ・コロリド」で制作・上映した「高岡事件」およびメイキング映像を富山市ほとり座にて上映をしたのち、一般参加者と制作に携わった高校生や映画制作のプロ集団の方々とでグループディスカッションを行った。グループデスカッションでは、映画の感想や続編を撮影するならどうするか、撮影秘話など作品の新たな意味や価値を創造し、色々なテーマのディスカッションをした。